



弘前大学同窓会報

第 23 号

発行日 令和4年3月31日
発行者 弘前大学同窓会
題 字 吉田 豊 元学長



同窓会会長就任にあたって

同窓会会長 相馬 正栄

2021年5月、コロナ禍で開かれた理事会において、前会長西澤一治氏の後任として推挙されました新会長の相馬正栄です。前・元会長さんのような人格的にも社会的にも認められるような立派な人間ではありませんが、弘前大学の発展ため、誠心誠意務めて参りますのでよろしくお願いいたします。

私は1942年平川市碓ヶ関に生まれ、1967年教育学部を卒業しました。その後、38年間青森県内の中学校教師として勤めましたが、その間小学校、高等学校（定時制）の経験もし、退職後は大学非常勤講師、こども園の園長まで勤めましたので、一応、保・小・中・高・大と貴重な教育経験をしました。また、サッカーは現在も続けていますので、実に63年間の長きに亘るサッカー人生を歩んでいます。また、人権擁護委員としても、18年間人権啓発・人権相談・救済活動をしてきました。

さて、我が弘前大学は、「世界に発信し、地域と共に創造する」というスローガンの下、地域活性化の中核的拠点を目指し、地域を意識した教育活動をしています。今や地域にとどまらず日本・世界に発信する研究もしています。その成果は、7月に発表された文科省の国立大学法人評価委員会による全国の国立大学等90法人の第3期中期目標期間4年間の業務実績評価において、計画以上の進捗状況にあるとの評価を得た事にも表れています。また、「地域貢献」

を掲げる全国55大学のうち9位の評価も受けています。このように、歴代学長達の優れた指導力の下で、着々と教育環境は整備されています。

さて、弘前大学同窓会は、吉田豊元学長の「これからの大学は地域と同窓会と三位一体の協力体制ができて、はじめて発展性がある」との考えから、各学部の同窓会が統合され1999年6月に設立されました。設立当初から、各学部同窓会が密接な連携の下に、相互啓発、大学の教育研究活動の支援、各同窓会及び大学の発展に寄与することを目的に、歴代の会長さんにより、会報の発行や大学の大きな行事の支援等を行ってきました。

ところが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会生活は一変し、学生生活も大きく変わりました。大学は福田学長の強力なリーダーシップにより、「メディア授業」のための施設・設備の整備、学生のアルバイトの減少による経済的な問題の対応のための「就学支援基金」の新設やクラウドファンディングによる「100円昼食弁当・夕食プロジェクト」等の対応をしてきました。同窓会としても、学生の支援を強力に推し進めたいと思っているところですが、残念ながら思うような支援が出来ませんでした。同窓会としては、将来、大学の顕彰事業への参加や、学生たちのサークル活動等の実施に関する支援を行っていきたいと思っています。



コロナ禍で思うダーウィン進化論

弘前大学長 福田 眞作

2021年2月、コロナ禍への対応に追われる中、本学に衝撃が走りました。2021年度大学入試一般選抜の弘前大学の志願倍率が3倍を下回り、志願者数が大幅に減少（1,206名減）したのです。ほとんどの大学が志願者を減らしたとはいえ、これは東北にある国立大学の中でも最多（2番目に多いのが秋田大学で503名減）でした。要因としては、少子化の影響、センター試験から共通テストへの移行、及び新型コロナウイルス感染症の影響（国内移動の逡巡、保護者の意識・家計の変化など）に加え、本学独自の要因（志望理由書の導入初年度、一般選抜91名の定員減）が複合的に重なった結果ではないかと分析しています。重点校の増加、入試広報の強化（公式HPの改良、SNS等による発信、各地区の説明会への積極的な参加など）、さらに八戸地区試験場から仙台地区試験場への戦略的な変更など、1年かけて急ぎ入試改革を進めました。これらの改革により2022年度入試の志願倍率の大幅な回復（4.6倍）を達成できたところです。

2021年度の本学におけるコロナ禍への取組を紹介します。職場単位（大学）のワクチン一括接種を全国でもトップクラスのスピードで完了し、引き続き実施した「大学コンソーシアム学都ひろさき」に加盟する5大学が連携する一括接種は、大学間連携による職域接種（大学）の先駆けとして全国に紹介されました（弘前

大方式）。また、今年度も①100円夕食（2021年11月24日に10万食を突破）や100円昼食弁当（いずれも継続中）、②「コンソーシアム学都ひろさき」によるプレミアム付学生生活支援チケット、③学内アルバイト創出による学生応援事業、④包括連携協定を締結している15自治体の地元産品を活用した食支援（2年連続）など、困窮する学生および地域への支援事業を実施しました。なお、①②③はクラウドファンディングを活用したものであり、全国の同窓生の皆様をはじめとする善意のご支援に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

予測していたこととはいえ、2021年度もまた新型コロナウイルスに翻弄された1年として記録、記憶されることになりそうです。いましばらく、我々を取り巻く環境は厳しい状態が続くと推測されます。そのような先が見通せない中であっても、アフターコロナを見据えて私たちは動き出さねばなりません。進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンの名言の一つに、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である」という言葉があります。情勢の詳細な分析と迅速な決断のもと、確固とした歩みを教職員と一体となって力強く進めてまいります。同窓会の皆様方には、引き続き、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

市内連携大学を含めた新型コロナワクチン職域接種

弘前大学保健管理センター所長 佐藤 研

令和3年4月に保健管理センター所長を拝命いたしました、佐藤研と申します。新型コロナワクチン職域接種についてご報告いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、皆様も感染対策などにご尽力されてきたことと思います。本学でも、感染対策としてオンライン授業の導入や換気、3密の回避、手指消毒などを徹底した上での対面授業、感染拡大地域への移動制限、感冒様症状者の管理など、様々な感染対策を行ってきました。しかし、講義や実習、学生生活への影響は大きく、早期のワクチン接種が待望される状況が続いておりました。

そのような時期、東京オリンピック開幕を控えた令和3年6月、大学を含めた職域接種が可能となりました。福田学長が中心となり、可能な限り早い時期に職域接種ができるよう、事前にご尽力いただいていた結果、早急に新型コロナワクチンプロジェクトが立ち上がり、私もプロジェクトリーダーとして関わらせていただくこととなりました。しかし、本学の学生、教職員を対象とした大きなプロジェクトであり、さらに、準備、調整が必要な内容は列挙しただけでも、接種期間の調整、会場設営、ワクチン接種希望者の確認、予約、搬入されたワクチンの管理、ま

た、実施期間に関しては、スムーズな接種のための会場運営、室温管理や3密の回避などを含めた環境調整、副反応への対応など多岐にわたりました。附属病院のご協力をはじめとして、オール弘大での実施が必要な内容であり、附属病院長の大山先生、感染制御センター長の萱場先生（当時）、薬剤部の新岡先生、高度救命救急センター長の花田先生、看護部の井瀧部長など、附属病院の皆様から、ご助言、ご支援をいただき、また様々な部署の職員の皆様にご尽力いただくこととなりました。さらに実施にあたっては、問診、接種、運営担当者として、延べ人数で約1,080名の方に参加いただきました。その結果、他大学と比較してもかなり早い時期に接種を開始するこ

とができ、2回の接種（1回目6/27～7/10、2回目7/25～8/7）で約5,920名の方に接種を実施できました。

また、大学コンソーシアム学都ひろさきに加盟の弘前学院大学、弘前医療福祉大学、柴田学園大学、放送大学の教職員、学生の皆様にも接種できたことも大きな意義があったと考えます。実施にあたっては、各大学職員の皆様にもご協力いただき、接種期間（1回目7/11～7/14、2回目8/8～8/11）に約1,560名の方に接種を実施できました。

今後、早期の終息を期待しておりますが、オミクロン株の出現もあり、現状では引き続き十分な感染対策の継続が必要と考えております。今後とも宜しく願いいたします。

弘前大学では、学生支援、教育研究活動等の一層の充実を図るため、平成27年7月に「弘前大学基金」を創設、平成28年9月には「弘前大学基金」の中に、経済的理由により修学が困難な学生に対し支援事業を行うことを目的とする「弘前大学修学支援基金」を設置し、留学費用支援や困窮する学生の寄宿料免除などの事業を実施してきました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた令和2年4月、経済的に困窮する学生が修学を断念することのないよう支援を実施するため、弘前大学ホームページなどで修学支援基金へのご寄附をお願い

「各種支援やクラウドファンディングの御礼」

いしてまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、多くの学生が思うようにアルバイトができないという状況が続いていることから、困窮する学生の現状を、より多くの方に知ってもらい支援を募るためクラウドファンディングの実施を決定し、令和2年12月、令和3年6月及び11月に「100円昼食弁当・夕食プロジェクト」、令和3年7月には「学生アルバイト応援プロジェクト」を立ち上げたほか、「大学コンソーシアム学都ひろさき」を構成する弘前市内

の3大学（弘前学院大学・柴田学園大学・弘前医療福祉大学）に呼びかけ、令和3年9月に大学コンソーシアム学都ひろさきによるクラウドファンディング「学生生活支援プロジェクト」を実施し、「大学発 地域振興券」を発行しました。クラウドファンディングの実施の際には、各学部同窓会のホームページに支援のお願いを掲載していただき、SNS等による情報拡散のご協力をいただいた結果、卒業生をはじめ、多くの方々からのご支援をいただくことができました。中でも6月に実施した「100円昼食弁当・夕食プロジェクト」は、当初の目標を大きく上回る132%の寄付額となりました。

クラウドファンディングを含む修学支援基金へのご支援は、令和2年度からの累計で令和3年12月20日現在、2,347件、約5,135万円となって

おり、皆様からのご支援により令和2年6月からスタートした「100円昼食弁当」・「100円夕食」の取り組みでは、令和3年11月に累計10万食を達成するなど他大学では類を見ない規模となっております。

また、寄附金だけではなく、関係自治体や団体、企業などから、多くの支援物資のご寄附があり、今年度は、株式会社町田&町田商會様から不織布マスク10万枚、ライオンズクラブ国際協会（332-A 地区）様から非常食4,000食を提供いただき、本学学生に配布することができました。

多くの皆様からの様々な形でのご支援に、改めまして心より深く御礼申し上げますとともに、これからは学生への支援を行ってまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

弘前大学基金
URL及びQRコード
<https://fund.hirosaki-u.ac.jp/>



教育学部通信



教育学部講師
蒔田 純

海外での オンライン出前授業

私は「幼い段階から政治との関わり方を分かりますと教えるべき」との思いから、選挙をテーマとするアニメ動画を作成し、それを用いた出前授業を2019年より行っています。これまでに、全国26の小学校で39回実施しました。動画は「ポリポリ村」という村が舞台で、お金の使い方をめぐって意見が分かれたため（橋を造るべきか、お祭りを行うべきか）、双方の主張を代表する候補者が出馬する村長選挙で決めることになります。2人の候補者に対して児童は実際に投票を行い、その結果でその後の展開が変化します。このような要素を組み込むことによって「物事はどのように決めるべきか」「なぜ選挙に参加せねばならないか」等を学ぶことになります。

この出前授業を海外に展開させるべく、2021年5月にパプアニュー

ギニアで3回、8月にインドで1回、12月に東ティモールで2回オンライン授業を行いました。児童の反応は非常に頼もしく、「お祭りを我慢すれば、橋のおかげで皆の生活が良くなるから」「今ある道を使えば橋はなくてもよいが、お祭りは昔から続いていたものだから」等、反対の意見と比較考量しつつ自らの意見を導き出していることが伺えました。また、授業冒頭で行う「本日ポリポリ村の村長を決めるのは君たちです。自信はありますか。」との問いに対して、日本では大半の児童が首を横に振るのに対して、海外では多くが自信たっぷりに「イエス!」と答えるのが印象的でした。

民主主義は社会が発展するための大前提であり、特に社会経済的な基盤が脆弱な途上国では、それを確実に次の世代に伝えていくことが必要です。今はオンラインでしか実施できませんが、コロナが治まった後は、ぜひ途上国を訪問し、直に子供たちに民主主義の意義を伝えていきたいと思っています。

資料館 旧制弘前高等学校開校100周年 企画展

本会報2号前の第21号にて、弘前大学創立70周年記念事業の報告を行いました。その21号が発行された令和2年3月、新型コロナウイルス流行の兆しが様々生じはじめ、その後ご承知のとおりパンデミックとなりました。収束が見通せない中の令和3（2021）年、弘前大学の礎のひとつである旧制弘前高等学校が、大正10（1921）年開校から100周年の節目を迎えたことをうけ、弘前大学資料館にて令和3年6月から第27回企画展「旧制弘前高等学校－みちのく弘前で学んだ学生たちの青春－開校100周年記念展示会」が、同年8月から第28回企画展として同展示会の第2部が開催されました。

開催にご尽力なされた附属図書館事務長（資料館担当）の三上豊さんにお話を伺いました。



企画展入口

本企画展開催のきっかけは？ もちろん旧制弘前高等学校（以下、旧制弘高）開校100周年の節目にあります。附属図書館には、OBの皆様から寄せられた貴重な資料が沢山あり、それらを披露する絶好の節目なのですが、一方でコロナ禍での披露には不安がありました。そのとき第

医学部医学科通信



医学部附属病院院長
大山 力

コロナ禍での生活もそろそろ2年に及ぼうとしておりますが、医学部と附属病院は車の両輪のように協力し合いながら教育、診療、研究に対応しております。

弘前市岩木地区（旧岩木町）の大規模健康調査「岩木健康増進プロジェクト」から始まった取り組みは、2013年に文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム「COI STREAM」に採択され、産官学民連携による日本を代表する一大ヘルシーエイジングプロジェクトに成長・発展を遂げました。世界最大の3,000の超多項目健康ビッグデータとAIによる解析技術が生み出す最先端の研究成果は、2021年10月8日に東京・一橋講堂で開催した「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2021」で紹介され、第一線の産学官民関係者が集結し、熱い議論を展開しました。

また、附属病院においては、高速

大容量・高信頼低遅延通信技術を基盤に次世代遠隔医療の実証研究が成果を上げています。袴田健一副病院長（消化器外科学講座・教授）を中心に、日本外科学会がAMEDの支援を受けて展開する遠隔手術プロジェクトが進行中です。本院と遠隔病院を高速ネットワークで結んでロボット手術を実施するという夢のような医療が現実となりそうです。この技術は、医師不足や医療の地域格差の解消、働き方改革への貢献、遠隔医療技術輸出による経済効果など多方面への波及効果が期待されます。

附属病院の再開発計画も順調に進捗しています。現在、外来診療棟西側に2023年春の竣工を目指して建築中（写真）の新病棟（I期病棟）が第一病棟になり、臨床研究棟が現第一病棟に移転し、臨床研究棟跡地にII期病棟が建築される予定です。



医学部保健学科通信

保健学科看護学専攻教授 富澤登志子

COVID-19による世界的なパンデミックは医療分野だけでなく、教育分野にも影響を及ぼし、対面による教育の継続が危機的状況となりました。医療系の教育では、対面での演習や実習は重要な学習機会です。多くの大学では一定期間、対面での学びができず、オンラインでの実習や演習となり、学習内容が制限されました。学びを止めないで実践力を育成するためには、バーチャルリアリティ（VR）の世界で学ぶことも1つの打開策です。VRは学習の3つの領域である認知、情動、精神運動すべてに効果が期待でき、現実の空間で再現が難しいことや判断が必要な状況をシミュレーションするのに適しています。災害分野ではトリアージに関する教材や治療成績を評価する教材などが開発されてきましたが、VR教材は実地訓練と比べ、知識保有効果が高く、知識、自信、様々な技術が確実に獲得でき、費用

対効果が高いとされています。保健学科では多くの教職員が被ばく医療に関する教育研究に携わってまいりましたが、傷病者受け入れのトレーニングVRの作成の他、2021年には、CGの傷病者を対象に実際に体表面汚染の検査を実践できる「ナップ：RIサーベイ」を企業と共同開発しました。実際の測定器に近い値の再現、電源ボタンやレンジの調整などもでき、本物を使っている感覚になります。3D空間上でプローブの位置と体表面との距離、プローブのスピードを可視化しているので、実際の機器を使った学習よりも正しい測定方法を身につけられる可能性が高いです。海外でも使ってもらえるように言語の切り替えもできるようにしました。今後もコロナ禍の体制は続くと考えられますので、新たなテクノロジーを用いて新しい教育を展開できるように、創造性を持った取り組みを続けていきたいと考えています。



弘大生の就職状況

当センターでは、学生の就職相談、就職ガイダンスや学内企業説明会の実施など、様々な就職支援を行っています。令和3年3月卒業者の就職率は全学部合計で97.9%と、新型コロナウイルス感染症の影響により企業の採用状況が厳しくなるなか、歴代6位と健闘しました。

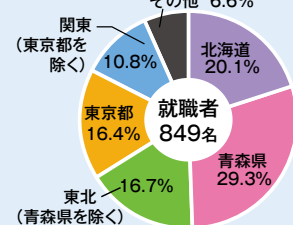
就職先の状況を地域別に見てみると、就活生の新型コロナウイルス感染症への懸念が浮き彫りになりました。青森県内への就職者数は29.3%と、コロナ前であった前年度に比べて1.8ポイント上昇し、逆に主な感染拡大地域であった東京都への就職者数は3.2ポイント低下という結果が出ました。また、各企業でWEBによる選考が導入されたことによっ

令和3年3月卒業者進路状況

学部別進路状況

	卒業者	就職希望者	就職者	未就職者	進学者	臨床研修医	その他
人文社会科学部(人文学部を含む)	262	230	218	12	10	—	22
教 育 学 部	180	136	134	2	12	—	32
医学部医学科	110	—	—	—	—	107	3
医学部保健学科	204	180	179	1	17	—	7
理 工 学 部	341	182	181	1	140	—	19
農学生命科学部	212	139	137	2	61	—	12
合 計	1,309	867	849	18	240	107	95

地域別就職状況



キャリアセンターから

て、これまでに比べ経済的・時間的制約を受けずに遠方の特に首都圏の企業の選考に参加しやすい状況となったことから、東京都を除く関東地方への就職者数が2.2ポイント上昇しました。

オンライン就活への支援

令和4年3月卒業予定者の就職活動状況を振り返ると、オンライン就活への適応が見られ、WEBでの個別企業説明会や業界研究会への参加、キャリアアドバイザーによるオンライン相談やWEB面接練習に取り組む様子も見られました。

そんな中で、学生からは「自宅のインターネット通信環境が不安定である」、「安心して面接を受けられる

静粛な環境がない」、「学内でWEB面接を受けられる場所を貸して欲しい」など、ハード面の相談が寄せられておりました。こうした相談に対し、これまでもWi-Fiルーターの貸出や、個人使用にはやや広いセミナー室などを適宜手配し貸出などの対応をしておりましたが、学生がより集中できるよう、令和3年11月より個室型のブースを設置し貸出を始めました。

ブース内には、安定した通信環境を提供する無線LANアクセスポイント、カメラ映りをサポートする高画

質WEBカメラ、LEDリング照明、下向きになりがちな姿勢を矯正する高さ調節機能付きPCラック、室内環境を快適にする小型エアコン、利用中の周囲からの視線を遮るロールスクリーン等が備えられ、学生にとって集中できる快適な空間となっており、利用した学生からは、「落ちついて企業との面談に臨むことが出来た」などの感想が寄せられています。



農学生命科学部通信

大学発「紅の夢」ドライアップル

農学生命科学部食料資源学科 岩井 邦久

紅の夢は弘前大学が育成した果肉まで赤いりんごの第1号で、赤い果肉に着目した株式会社合食（八戸工場）が美味しく綺麗なドライアップルの開発を企画しました。ところが、ドライフルーツ化すると最大の特徴である赤色が消失するため、退色防止技術の開発を目的に我々は共同研究を行いました。その結果、赤い色素であるアントシアニン類の減少を抑える方法をりんごに合わせて複数組み合わせることで、ドライアップルの赤色を長期間持続できる技術開発に成功しました。これにより、天然の赤色が鮮やかな紅の夢ドライアップルが開発され、これに県産のふじと紅玉のドライアップルを加えたアソート商品（写真）が完成、2021年3月より発売されました。

この商品が、青森県内の産学官金の連携組織「イノベーション・ネットワークあおもり」が主催する2021

年度アワードにおいて、イノベーション特別賞を受賞しました。特別賞は、青森県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献することが期待される優れた技術や製品に送られる賞です。今回、共同研究によって退色を防止し機能性を保持した今までにないドライアップルの商品化に成功したことと、この技術が県産農水産物を利用した加工食品等への応用が期待されることが評価されました。

我々は、今後も健康や美容に有益で美味しい加工食品や機能性表示食品等の次世代食品の研究開発を進め、その成果を地域に還元する取り組みを続けます。



県産りんごのドライアップルアソート

28回理科修了の佐賀郁朗さんから旧制弘高100周年について何か動きはあるのかとお問い合わせをいただき、それに後押しされるように開催へと進みました。

本企画展の特徴は？ 本学にしかない貴重な資料や写真を見ることが出来るのはもちろんですが、加えて学芸員資格取得のための演習科目「博物館実習II」と連携して、履修



学生による展示（手前）

学生による展示エリアを設けました。また企

画展周知のポスターには、旧制弘高の講堂と、それを模した50周年記念会館正面の写真を並べ、今も旧制弘高の面影があることを感じてもらえるようにしました。

沢山のお話を伺いながら企画展を観覧しました。ボードへの写真貼り付けや展示物説明パネルは、三上事務長の手作りによるとのこと、懐かしく温かみのある企画でした。

（編集委員 一條）



貴重な写真や資料が並び

理工学部通信



株式会社ウェザーニューズ 予報センター 気象予報士 宇野沢達也 (昭和62年 理学部地球科学科卒)

学生時代に何を学ぶ？

学生時代は地震屋で今は気象屋、しかも最も成績が悪かった科目を今は生業としているのは不思議です。ただ自然災害を減らしたいという想いで地球科学科を選んだので、仕事に活かされているとは思いますが。講義や卒業研究が直接仕事に役立つことは多くはありません。しかし、学んだ知識があるからこそできることがあります。今は気象、地象にかかわる防災情報の発信が主な仕事になっています。情報は受け手が理解してはじめて伝わったと言えます。現象を深く理解しておかないと難しいことを簡単に伝えることはできません。これからも学んだ知識を更に深めてゆきたいと思います。

最後に一番役に立った知識を紹介します。それは、雪道の歩き方です。

首都圏の大雪で身を守るために最も有効な情報だからです。それでは。



一般財団法人日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 気象予報士 高森泰人 (平成7年 理学研究科地球科学専攻修了)

冬の「さくら」

弘前大学出身という「弘前城のソメイヨシノ」の話に必ずなる。弘前といえば全国的には春の弘前城の弘前さくらまつり。私個人の「さくらまつり」は冬にも。今や冬季の観光資源にもなっている「冬に咲くさくらライトアップ」。そんなライトアップの話題になるずっと前の在学中に私は注目。地球科学科らしく、湿り雪が降る日を事前に予測し、ソメイヨシノの枝についた雪を桜の花が咲いたかのように夜な夜な楽しんだ。今と違いライトアップもされていないから街灯に照らされたサクラを楽しんだし、なんなら三脚立て一眼レフで写真も。そんなスキルを生かしたのか、1995年私は弘大初の学生気象予報士になった。

人文社会科学部通信



弘前市長 櫻田 宏 (昭和58年 人文学部経済学科卒)

弘前大学人文学部経済学科を卒業した私が、弘前市職員となって行政課題と向き合い、弘前市長として市政運営に携わる中で、弘前大学での経験がとても重要な役割を果たしていると強く思っており、今の自分につながっていると感じています。

内気だった自分が積極的に人と関わり、行動できるようになったのは、大学入学時に先輩から「コンパ委員」に指名されたことがきっかけでした。そして、勉強だけではなく、アルバイトなどを通じて、多くの社会人と出会い、人と人とのつながりの機微を学んだことが、市職員として市民や様々な団体と一緒に活動する、協働によるまちづくりの実践につながりました。

その中で特に思い入れがあるものの一つに、弘前大学と連携して始め

た「やわラボ」という交流会があります。この交流会は、大学生と社会人とのネットワークづくりを目的としたもので、出欠をとらず、参加者同士が自由に話し合うことによってゆるやかにつながり、文字どおりやわらかく活動するものです。この「やわラボ」での自由な発想が、弘前大学周辺の安全性を高める防犯カメラの設置や、弘前さくらまつりでの学生向けマップの制作など、実際の事業に結びついており、弘前大学の持つ可能性の大きさを改めて実感した取組になりました。

学都ひろさきの象徴である弘前大学は、在校生・卒業生のみならず、市民にとっても、人を育てる学びの場であり、人と人との結びつけるつながりの場でもあります。

弘前大学が今後も末永く愛され、親しまれる大学として、より一層発展されますことを心より祈念いたしますとともに、これからも弘前大学が教えてくれた人と人とのつながりを大切に、協働の輪が大きく広がるよう取り組んでいきます。

総合文化祭

学祭本部実行委員会委員長 柴田 絢

令和3年度の弘前大学総合文化祭(以下、弘大祭)は10月23日(土)に例年の3日間開催とは異なり1日開催で行われました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず中止となり、今年度の開催が2年ぶりの開催となりました。感染症対策のため、今年度の弘大祭は学内関係者のみが来校する事ができ、学外の方はYouTubeの生配信を視聴していただく「ハイブリット式」の新たなスタイルでの開催とな

りました。学内へは1,000人以上が来校し、オンライン配信も常時100人以上、最も多い時間帯で200人以上の方に視聴していただきました。

弘大祭の主役は実行委員ではありません。イベントに参加していただく“参加者”と、参加者を見に来てくださる“来場者”の皆さんがいて初めて弘大祭が成立します。参加者の「多くの人に自分達の姿を見て欲しい」という想いを受け取り、多くの人に弘大生の活躍を見て欲しいと考えた結果、ハイブリット式の弘大祭開催に踏み切る事ができました。

弘大祭当日は「Performance Show

2021」や「熱唱カラオケ大会2021」等のイベントで日頃の活動の成果を見ていただきました。来校者には「弘前さくらまつり」からヒントを得て、リストバンドを着用していただき、リストバンドに記載されている番号を大抽選会の当選番号としました。また、オンライン配信限定コンテンツとして「弘大の知らない世界」「ネタ祭り!! in 弘大」といった、映像編集を加えることで磨きが更にかかるイベントの開催も行いました。来場者や参加者にとって、今回の弘大祭が活力を取り戻すきっかけとなったのであれば、実行委員としてこれ

以上嬉しいことはありません。

弘大祭開催にあたり、弘前市役所及び青森県庁の方に感染症対策に関する意見を頂きました。また企業の方、教職員など非常に多くの方々のご協力をいただきました。実行委員を代表してここに厚く御礼申し上げます。



弘前大学
東京事務所

第2回弘大卒業生の集い開催!

東京事務所は、主に首都圏における研究紹介、技術相談、産学官連携などの活動拠点であり、3名の職員が常駐しています。また、卒業生の連携強化を目的とした「弘大卒業生の集い」を運営しており、弘大トピックスの発信、ネットワーク構築の一助となる場を提供しております。

2022年1月21日(金)に第2回「弘大卒業生の集いONLINE」を開催し、14名の卒業生、在学生に参加いただきました。本集いでは、はじめに福田学長からの挨拶と、若林所長から

の本学近況報告がありました。つづいて第1部では、教育推進機構キャリアセンターの秋元キャリアアドバイザーが「弘前大学はなぜ『採用を増やしたい大学ランキング』全国第2位に選ばれたのか?～キャリアセンター就職相談の現場から～」をテーマに講演を行いました。第2部では参加者に自己紹介いただき、在学中のお話や就職後の状況など世代・学部を超えての交流が行われました。



左: 福田学長による開会挨拶



中央: 若林所長による近況報告



右: 講演の様子

今回は講演テーマが「就職」で、オンライン開催ということもあり、在学生にも参加の間口を広げての開催となりました。本会を通じ、自分の企業に弘前大学の後輩が欲しい、弘前大学は誇れるものが多いのでもっと全国的に広告した方がよい、次回は対面での開催を希望する、など貴重なご意見をいただきました。

「弘大卒業生の集い」は、今後も継続的に開催したいと思っております。

で、これから就職される卒業予定者、ネットワークを構築したい卒業生など身近にいましたら、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

なお、東京事務所ではFacebook、Twitterを開設しておりますので是非ご利用ください。また、首都圏在住の方や東京にお越しの方はお気軽に事務所へご来訪ください。

【東京事務所HP】
<http://jtokyo.hirosaki-u.ac.jp/>

【卒業生の集い】
<http://jtokyo.hirosaki-u.ac.jp/tsudoi>

登録フォーム



「吉田基金」TOEIC賞受賞

同窓会では、平成14年度より弘前大学の国際化教育の支援を目的に、TOEICの高得点者(990点満点中900点以上)を対象とし、審査の上で賞状と副賞を授与しています。

令和3年度は、理工学部3年の森田寅靖さんが940点で受賞いたしました。コロナ禍の感染拡大状況を鑑み、授与式を中止し、令和4年2月8日に賞状と副賞をお渡しするのみといたしました。一方、森田さんから受賞に寄せてメッセージをいただきましたので、以下に記載いたします。

この度はこのような賞を頂戴し、とても光栄に思います。TOEICを受けようとしたきっかけは、大学院受験を見据えた腕試しであり、具体的に「英語をこう使いたい!」とのビジョンは全くありませんでした。ただ、勉強していくうちに段々と楽しくなり、点数によって成長が可視化されるのも相まってすっかり英語の虜になりました。その結果、目標の800点台を大きく上回る点数を取ることができました。折角ここまでのレベルにたどり着くことができたので、点数という単なる「記録」で満足するのではなく英語を“道具”として使えるレベルまで磨き上げていくために、これからもアウトプットを含めて頑張っていく所存です。



けは、大学院受験を見据えた腕試しであり、具体的に「英語をこう使いたい!」とのビジョンは全くありませんでした。ただ、勉強していくうちに段々と楽しくなり、点数によって成長が可視化されるのも相まってすっかり英語の虜になりました。その結果、目標の800点台を大きく上回る点数を取ることができました。折角ここまでのレベルにたどり着くことができたので、点数という単なる「記録」で満足するのではなく英語を“道具”として使えるレベルまで磨き上げていくために、これからもアウトプットを含めて頑張っていく所存です。

令和3(2021)年度 弘前大学同窓会役員名簿

名誉顧問	吉田 豊	弘前大学元学長
顧問	遠藤 正彦	弘前大学元学長
顧問	佐藤 眞	弘前大学前学長
顧問	福田 真	弘前大学学長
顧問	三上 澤	弘前大学同窓会元会長
顧問	西澤 一	弘前大学同窓会前会長
会長	相馬 正	教育学部同窓会会長
副会長	千葉 信	理工学部同樹会会長
理事	建部 礼	人文社会科学部同窓会会長
理事	葛西 法	人文社会科学部同窓会副会長
理事・事務局長	工藤 睦	教育学部同窓会顧問
理事	澤田 美	医学部医学科鶴桜会理事長
理事	澤田 雅	医学部医学科鶴桜会常務理事
理事	小山内 暢	医学部保健学科さくら会会長
理事	千葉 満	医学部保健学科さくら会副会長
理事	山上 佳	理工学部同樹会副会長
理事	高谷 清	農学生命科学部同窓会会長
理事	熊谷 幸	農学生命科学部同窓会副会長
監事	小笠原 潤	人文社会科学部同窓会副会長
監事	糠塚 いそし	理工学部同樹会会員

令和2(2020)年度 弘前大学同窓会決算報告書

1. 収入の部			
項 目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	
前年度繰越分	1,024,277	1,024,277	
同窓会費			
人文学部同窓会	185,500	185,500	
教育学部同窓会	112,000	112,000	
医学部医学科鶴桜会	78,400	78,400	
医学部保健学科さくら会	140,000	140,000	
理工学部同樹会	252,000	252,000	
農学生命科学部同窓会	150,500	150,500	
預金決算利息	15	12	
計	1,942,692	1,942,689	
2. 支出の部			
項 目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	
印刷費	350,000	264,283	
役務費	298,220	297,073	
会議費	30,000	1,723	
旅費	7,000	0	
通信費	4,000	3,926	
消耗品費	3,000	492	
雑費	30,000	20,220	
繰り越し・予備費	1,220,472	1,354,972	
計	1,942,692	1,942,689	

令和3(2021)年度 弘前大学同窓会事業予算書

1. 収入の部			
項 目	令和2年度決算額	令和3年度予算額	
前年度繰越分	1,024,277	1,354,972	
同窓会費			
人文学部同窓会	185,500	185,500	
教育学部同窓会	112,000	112,000	
医学部医学科鶴桜会	78,400	78,400	
医学部保健学科さくら会	140,000	140,000	
理工学部同樹会	252,000	252,000	
農学生命科学部同窓会	150,500	150,500	
預金決算利息	12	10	
計	1,942,692	2,273,382	
2. 支出の部			
項 目	令和2年度決算額	令和3年度予算額	
印刷費	264,283	350,000	
役務費	297,073	298,220	
会議費	1,723	30,000	
旅費	0	7,000	
通信費	3,926	4,000	
消耗品費	492	3,000	
雑費	20,220	30,000	
繰り越し・予備費	1,354,972	1,551,163	
計	1,942,689	2,273,382	

令和3(2021)年度 弘前大学同窓会事業計画

1. 事業内容			
(1) 大学現況内容等の会報(年1回)の発行			
(2) 各学部同窓会間の連絡調整			
(3) 弘前大学同窓会ホームページ活用業務			
(4) 大学関係行事等への後援・協賛			
2. 事業費			
(1) 印刷費	350,000円		
・会報23号作成	300,000円		
・封筒(角2・長3)作成	50,000円		
(2) 役務費	298,220円		
・役務 @1,147円×260時間=298,220円			
(3) 会議費	30,000円		
(4) 旅費	7,000円		
(5) 通信費	4,000円		
(6) 消耗品費	3,000円		
(7) 雑費	30,000円		
事業費計	722,220円		

令和3(2021)年度 弘前大学同窓会「吉田基金」事業計画

1. 事業内容			
(1) 国際化教育支援			
2. 事業費			
(1) TOEIC 賞副賞	200,000円		
・100,000円×2名分			
事業費計	200,000円		

令和2(2020)年度 弘前大学同窓会「吉田基金」決算報告書

1. 収入の部			
項 目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	
前年度繰越分	1,500,126	1,500,126	
預金決算利息	10	12	
計	1,500,136	1,500,138	
2. 支出の部			
項 目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	
TOEIC賞副賞	200,000	200,000	
予備費	1,300,136	1,300,138	
計	1,500,136	1,500,138	

令和3(2021)年度 弘前大学同窓会「吉田基金」事業予算書

1. 収入の部			
項 目	令和2年度決算額	令和2年度予算額	
前年度繰越分	1,500,126	1,300,138	
預金決算利息等	12	10	
計	1,500,138	1,300,148	
2. 支出の部			
項 目	令和2年度決算額	令和3年度予算額	
TOEIC賞副賞	200,000	200,000	
繰り越し・予備費	1,300,138	1,100,148	
計	1,500,138	1,300,148	

私たちが編集しました

委員長
一條健司
委 員

泉谷安規
對馬浩二
田村一期
三上佳澄
芹田美穂子
栗田大輔

森岡欽吾
福島成利
樋口 毅
石川大瑛
松崎正敏
工藤睦男



弘前大学同窓会事務局
☎0172(39)3490

◇新たにご就任なされた相馬同窓会長のもと、今後の同窓生の結束と活動について、福田学長の言葉にあるようアフターコロナを見据えた進化を期待しつつ、同窓生から在学生への変わらぬご支援を願いたい。
◇全国に紹介された新型コロナワクチン職域接種(大学)、食支援、クラウドファンディングなど、さまざまな新型コロナ対策において準備や実施に尽力を続ける大学各部署の関係各位に深謝する。
◇オンライン就活ブース、オンライン併用の総合文化祭、オンライン卒業生の集いのそれぞれに、物理的な距離や収容人数を超えられるオンライン特性の効果が垣間見える。アフターコロナの模索に繋げたい。
◇2021年は旧制弘高開校から百周年であった。3波に及んだ百年前のスペイン風邪が収束に向かう頃(総務省統計局の統計図書館ミニトピックスNo.30による)の開校のようだ。この百周年の節目に新型コロナの収束も期待したい。